

年4回（4月、7月、10月、1月の各10日）発行

# ひゅーまん ねつとわーく

# 地域生活



2025年 7月 発行 / 第102号

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F  
TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155 info@suginokokai.com



レジデンスはぎのもりご利用者と職員

ひゅーまん

HUMAN

RELAY  
リレー



社会福祉法人はるにれの里 児童発達支援センターさんりんしゃ  
センター長 石山 玲子<sup>いしやま れい こ</sup>さんより

いつも杉の子会の皆様にはお世話になっております。

私は、はるにれの里で児童の支援をしています。入職は平成18年でしたので、19年経ちました。もともとは学校の教員をしており、ちょうど自閉症支援について佐々木正美先生がいろいろな講演会で話してくださり、TEACCHプログラムという言葉が日本でしばしば聞くようになった頃に、当時勤務していた養護学校（特別支援学校）で、初めて自閉症の子たちの担任をもちました。その時の私は、大学で二種免許を取っていたものの、直接自閉症の特性を持っているお子さんたちとじっくり関わったことはなく、それまでの自分の接し方でうまく関係をつくれる子もいれば、全くうまくいかない子もいました。麦の子会の北川先生も書いていましたが、『人』として試されているというか、「本当に自分のことをわかっていてくれるか？」という言葉ではなく、態度や表情、行動で問われているような気持ちでした。

そのころ、当時の学校には当法人の新理事長である加藤さんが研究部長としており、自閉症研究を学校全体の取り組みとして始めました。また、函館の学校だったので、侑愛会とのつながりもあり、当時「あおいそら」にいた真鍋さん〔現在、当法人STP（Special Treatment Project=特別な

配慮が必要な人たちに対するプロジェクトチーム）配属]や井出先生に学校にコンサルテーションに来ていただき、福祉と教育の連携の面白さを学びました。当時の自閉症セミナー（侑愛会主催）に参加したり、東京で行われていた自閉症カンファレンスに行ったり、国際治療教育研究所のセミナーに参加したり、研修やコンサルテーションでがむしゃらに知識を得て、それを学校でやってみて、少しずつ担任していた子たちのことを理解できつつ、また勉強に行くというような3年間でした。実践することが楽しく、子どもたちとの関係も『なんだかつながれたかな!』と実感できることも増え、「自閉症という特徴をもっている子」として、一人ひとりを理解しようと自分自身の考え方やこれまでの価値観が変わっていった時だったなあと、今から振り返ると思います。その当時から、自閉症支援を知って出会った人たちとのご縁は、現在までつながっています。

そして、はるにれの里に入職し、『児童デイサービスさんりんしゃ』を任される立場となりました。初めは、運営や経営面がまったくわからず、法人としても初めて行う事業だったので、周囲にある児童デイサービス事業所と情報交換し、事業面でわからないことはお互いに相談できる事業所仲間を

作りました。平成18年は札幌市にまだ事業所数が少なかったため、その頃相談し合った仲間は、いまだに貴重な存在として、時々会って話しています。その当時で思い出すことは、自閉症協会札幌分会（ポプラ会）のお母さんたちがとても勉強をされていて、ソーシャルストーリーズやPECSなどお母さんたちが家で実践して、「デイでもやってほしい。」とお願いされることがあるほど、保護者の支援への意欲も高かったことです。そして、「はるにれの里で児童デイサービスができる!」ということで、口コミで小学生の親御さんから一気に利用申し込みがあったことも覚えています。その分プレッシャーもあり、今では考えられないほど事業所に残って、いろいろな準備をしていました。今はもうできない体力だったなあと思います。時々、木村前理事長と「発達障害の子にわかりやすい幼稚園みたいなやりたいですね。」と話して、木村理事長は「よし!やろう!」とあまり根拠なく(笑)、背中を押してくれていました。ですが、言葉に出して言ったことで、児童発達支援センターの実現に近づいたのかなとも思います。

その後、制度改正に伴い、平成25年に児童発達支援センターとして新たにスタートしました。それまでの歴史のある通園施設の中に、児童デイサービスを8年やっただけの新しいセンターが入ることは、とてもハードルが高かったのですが、札幌市の他の児童発達支援センターの先生方が優しく迎えて下さり、センターの仲間としてご指導くだ

さいました。現在は官民関係なく、9つの全センターで札幌市の子どもへの支援について、取り組むことができます。さんりんしゃでは、私は管理業務の他に保育所等訪問事業と札幌市障がい児等療育支援事業で、小学校以上のお子さんのサポートや幼稚園・保育園等の機関支援を行っています。センター内では、毎日いろいろなことが起きる慌ただしい日々ですが、職員が本当によく動き、支援を考えて、一生懸命取り組んでいる姿に刺激をもらえています。そして、さらに刺激をもらえる仲間の一人として、杉の子会の岩城所長がいます。岩城さんとは、TEACCH公認札幌5日トレーニングセミナーの準備のため、2023年に一緒にノースカロライナで行われた現地の5日に行かせていただきました。それ以来、お付き合いが続いています。初めて会ったとは思えないほど気さくで決断力があり、明るく素敵な所長さんでした。岩城さんと出会ったことで、また相談できる仲間が増え、豊中市児童発達支援センターの取り組みからさんりんしゃも学ばせていただいております。場所は離れていますが、同じ方向を向いて進んでいる心強い存在です。この仕事をしていると、課題は次から次へと出てきますが、人とのご縁でその都度力をもらい、がんばれたなあと感じています。後輩たちにも、自分の縁を作り、仲間を増やしてほしいなと思っています。これからも杉の子会の皆様には、たくさんお世話になるとは思いますが、末永くどうぞよろしくお願いいたします。



UNC TEACCH自閉症プログラム エグゼクティブディレクター  
ローラ・クリンガーさんと日本チーム



職員研修の様子～課題作りワークショップ

## 地域における包括的支援体制の構築をめざして

### ～地域連携を考えて～



社労士 FP 事務所 チャレンジド・ガーディアン  
代表 久保田 あきみさんより

#### ■ 弊所について

現在、大阪府吹田市で、「社会保険労務士」と「ファイナンシャルプランナー（FP）」の事務所を開業しています。社労士としては「障害年金の代理請求」を、FPとしては「障害のある方とその家族のマネープラン」が専門です。社労士といえば労務顧問が主流の中、障害年金を専門にする社労士はわずか10%ほど。また、FPとしては、保険や投資、不動産業務が花形の中で、相談業務、しかも障害者が専門というのはとてもニッチであると言えます。

最初からこの仕事をしたいと思って始めたわけではなく、いろいろな方との出会いがあって、偶然、今に至っています。

#### ■ 専業主婦からファイナンシャルプランナーとして独立するまで

40歳の頃、私は2人の子供を抱えて離婚に直面していました。子供のうち一人は重度の知的障害。30歳で結婚してから10年間、ずっと専業主婦で、特別なスキルもなく、どうやって子どもを育てていけばいいか悩んでいました。なんとか派遣社員として社会復帰を果たしたものの、将来へのお金の不安が消えず、「私、お金のこと、何も知らんやん！」と愕然として、離婚準備として取ったのがファイナンシャルプランナー資格でした。

その後、別居から3年経ち、夫と家庭裁判所で離婚調停を行っていたのですが、その時の気持ちやFPとしてのお金の知識を、当時流行っていたアメブロに載せていました。すると、たくさんの反響

があり、共感の声や「私の場合はどうしたらいいの?」という相談が寄せられるように。「みんな、悩んでいることは同じなんだ」と気づき、45歳で離婚が成立した後、ファイナンシャルプランナーとして独立したのでした。

はじめは、離婚に悩む女性やひとり親家庭の相談に乗りたいと活動していましたが、すぐに、私と同じ障害児ママたちから、「私たちの子どもの将来のお金はどうなるのか教えて欲しい」と相談が寄せられるようになりました。それは、私自身も障害児の母として、ずっと知りたいと思っていたことです。そこで、行政の障害者施策推進委員を務めたり、就労継続支援B型で3年間支援員として働いたりして、「障害とお金」に関する勉強をしました。



#### ■ さらに、社労士資格取得のきっかけ

その頃、忘れられない相談がありました。お兄さんから、実家に引きこもる30代の弟についての相談でした。弟は、高校から不登校になり、専門学校も中退、それ以降、実家の農業を手伝って暮らしていました。高校時代に発達障害の診断を受けたものの、父親ががんとして認めず、特に福祉サービスも受けられていませんでした。唯一の理解者

だった母親ががんで急逝し、父と弟2人暮らしになると、関係がより悪化。心配した兄から、「弟は『働きながら独り暮らしがしたい』と言っているが、今まで一度も働いたことのないのに、そんなことができるのでしょうか?」というご相談でした。「障害年金をもらいながら、働いて自活している人はいますよ。」とアドバイスし、そこから、病院を探して受診するとともに、知り合いの社労士に頼んで、障害年金を申請しました。病院を探し障害者手帳を取るところから始めて、1年近くの時間がかかりましたが、無事に障害基礎年金2級を受給し、月7万円程度を受け取ることができるようになったのです。それまでは、「年金を受けられるなんて、そんなウマイ話があるわけない、サギだ」と反対していたお父さんも、本当に年金が受けられたのを見て、やっと独り立ちを認め、「お前の好きなようにやってみろ」と送り出してくれました。その後、弟さんは就労継続支援B型で仕事を始め、そこでの収入と障害年金を合わせて、無事にグループホームでの自立が実現したのです。

「障害年金には人の人生を変える力がある」というのを目の当たりにした私は、「自分もぜひ障害年金の手続きができる社労士になりたい!」と思い、社労士資格に挑戦。2年目に合格し、社労士×ファイナンシャルプランナーの事務所として開業しました。



#### ■「北摂杉の子会」様との連携について

社労士としては、「生活支援センター あんだんて」様と連携し、経済的支援の必要な方に「障害年金」をお届けしています。年金を申請した時は不就労だった方が、その後、就労継続支援事業所や障害者雇いで働いているとお聞きすると、本

当にうれしく思います。

ファイナンシャルプランナーとしては、2022年3月に「生活支援センター あんだんて」様で『お金の管理とトラブルの話』、2024年10月に「LaLa-chocolat TAKATSUKI」様で保護者様向けに『親なきあとお金で困らないために～親がまだ元気な間にできること』というテーマで講座をさせていただきました。また、私は「ゆうちょ財団」が公益事業として行う「障がいのある人と保護者向け親なきあと相談会」の相談員をしています。ZOOMを使って40分間無料で利用頂けるので、そちらの相談会を利用して、家計の相談をして下さる貴法人の利用者様もいらっしゃいます。

#### ■これからの弊所について

別居した時に小学校3年生だった娘は現在22歳。フランス料理屋さんの中にある就労継続支援B型で、お菓子の検品や梱包の作業をしています。プライベートでは交際する彼がで、「いつか結婚したい」と言っています。今も毎日悩みは尽きませんが、娘が知的重度と診断され泣き暮らしていた頃は、「知らない」ことから余計に不安が募っていました。実は、たくさんの支えてくれる人がいて、利用できる制度があることを知っていれば、あれほど未来が怖くはなかったのではないかと思います。

当事者家族として、専門家として、貴法人のような地域で活動する方々と連携し、多くの人に使える制度や知識を届けることで、少しでも前向きに過ごして欲しい、その一助でありたいと願っています。



# レジデンスはぎのもり開設のご報告



地域生活支援部 統括部長  
かつ べ しんいちろう  
勝 部 真一郎

障害者支援施設“萩の杜”は今年度で開設から26年目を迎えています。近年施設運営においては、ご利用者の高齢化に対する支援がひとつの大きな課題になっていました。

“地域に生きる”という、私ども法人の大切な理念に基づき、高齢化したご利用者の今後の地域生活の継続や安心していただける生活環境構築のひとつのカタチとして、2025年5月1日、高槻市奈佐原に高齢化した萩の杜のご利用者を対象に、共同生活援助事業所“レジデンスはぎのもり”が開設しましたのでご報告いたします。

## 1. 開設までの経緯

萩の杜は1999年4月、50名定員の知的障害者入所更生施設として開設し、ユニットケアと職住分離を施設運営の大きな特色として取り組んできました。ユニットケアにおいては、建物内を4つのユニットに分け、1ユニット約12名のご利用者の小集団での暮らしを支援してきました。しかし、ご利用者の居室は2人部屋も多いことや入浴設備の無いユニットもあること、小集団での暮らしといえども、集団生活における環境刺激が大きく影響するご利用者も多く生活している等、ご利用者の生活の様子や感染症対策強化等、現在の視点で見直すと居室の全室個室化や各ユニットの設備充実、より小集団での暮らしの実現等が求められていました。一方、萩の杜開設から10年を過ぎた頃から、ご利用者の転倒等による大腿骨骨折や肺炎罹患件

数の増加、疾病による永久気管孔造設に伴う喀痰吸引、導尿の必要性等、日常的な医療的ケアの必要性や移動時の車いす使用、居室での介護スペース確保等、高齢化に伴う医療面での支援ニーズや介護度の上昇も顕著となってきました。

上記様々な変化に伴い、萩の杜全体のご利用者の生活環境としては、行動面での支援が必要なご利用者と医療や介護の必要なご利用者が各ユニットとも一緒に生活している状況となり、障害者支援施設での医療面での支援に関する制度上の悩ましさもあることから、ご利用者の今後の地域生活継続について、ご利用者やご家族、スタッフにとっても不安の多い環境であると感じていました。

そうした背景から、法人において“萩の杜 高齢・重度化対策プロジェクト”を2019年8月に立ち上げ、改善策として下記の内容の検討と準備を進めてきました。

### 【萩の杜 高齢・重度化対策プロジェクト】

目 標：萩の杜 ご利用者の状態像に合わせた生活環境を整備する

構成員：理事長、副理事長、萩の杜家族会会長と家族代表2名、萩の杜施設長と1名

計 画：

①高齢化対応グループホームを設立し、高齢化した萩の杜ご利用者の生活環境を整える



レジデンスはぎのもり建物外観

- ・萩の杜の医療支援ニーズや介護度の高いご利用者に適したグループホームを設立する
- ・住環境としてバリアフリーや介護スペースの確保、より小集団での生活を実現することにより、適切な介護を受けることができるようにする
- ・医療支援に関しては、在宅での医療資源ネットワークを構築する

## ②萩の杜の設備環境等を改善する

- ・高齢化したご利用者のグループホーム移行後は事業所の利用定員減をおこなう
- ・各ユニットをより小集団化し環境刺激が大きく影響するご利用者に配慮した環境を再編するとともに、感染症対策強化等も含め居室の個室化や全ユニットに浴室設備を設置する

## 2. レジデンスはぎのもりの概要

### 【レジデンスはぎのもり】

共同生活援助(介護サービス包括型)

定員：16名(1ユニット：4～6名)

建物：2棟(1階建て1棟 + 2階建て1棟の3ユニット)

設備：建物全体

- ・事務所1、厨房1、エレベーター1

各ユニット共通

- ・居室6、リビング1、トイレ2、浴室2、スタッフルーム1

## 3. 今後に向けて

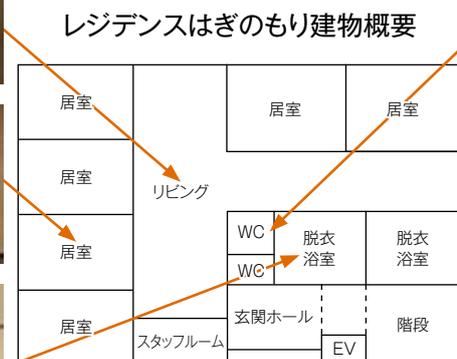
本報告作成時点で、開設から約1ヵ月経っています。レジデンスはぎのもり開設直後にご利用者が新しい生活環境に慣れていただくことに取り組み、現在は地域の医療機関による医師の訪問診療や訪問看護ステーションの定期訪問を開始しているところです。また、萩の杜においては、支援体制も含めた利用定員減後の環境づくりに取り組んでいるところです。スタッフは、ご利用

者のより良い生活環境づくり等を目指して、ご利用者から学び試行錯誤しながら取り組んでいるところですが、レジデンスはぎのもりと萩の杜双方のご利用者がゆったりと過ごす場面や笑顔が増えたこと、表情が穏やかになったこと等を実感しているところです。

私自身、障害者支援施設における、ご利用者の高齢・重度化についての話題を耳にすることが年々増えてきていると感じています。ともすると“高齢・重度化”という言葉自体が非常にネガティブな印象となることも感じています。もちろん施設運営においては様々な困難も多くありますが、誰しも歳をとることは普通のこと、決してご利用者にとってはマイナスなことばかりではないと捉えなおす必要もあると感じています。ご利用者が医療や介護を必要とする場面は増え、非常に残念な悲しいこともありますが、ライフステージに応じた、その人らしい地域生活を送ることを支える…という私たちの使命は変わらないと思っています。

とはいえ、私どもも常に変化するご利用者のニーズ、特に高齢化に対する支援においては未熟な部分が多くあります。今後も地域のみなさまからのお力添えいただきながら取り組んでいきたいと思しますので、引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、開設に際して、ご利用者やご家族をはじめとする地域の関係者のみなさまに多大なるご支援をいただいたことに感謝申し上げます。



厨房

# 韓国 社会福祉法人崇徳院との交流研修報告

北摂杉の子会と韓国の社会福祉法人崇徳院は人材育成を目的とした業務協約を締結しています。今回はその一環として当法人の視察と研修の為、韓国から13名の職員さんがお越しになりました。

## 【1日目】

▼午前：①強度行動障がい理解 ②自閉症の特性理解の研修 ③アセスメント

▼午後：支援体験実習コースと運営マネジメントコースに分かれての研修

▼支援体験実習コースではご利用者役と支援者役に分かれて100円ショップでのお買い物支援を通して、必要な配慮などを体験的に学んでいただきました。1回目の買い物は支援グッズや予告支援なども何もなく買い物に行っていたが、2回目は1回目で生じた課題に対応するための支援グッズを作成して、買い物にチャレンジしていただきました。

聴覚過敏で耳を手で押さえておられたり、気になる物が見えるとそちらに関心が向いたりするなどご利用者役の方も実際の支援場面をリアルに再現しておられ、実践につながりやすい研修となりました。

## 【2日目】

▼北摂杉の子会事業所見学

①ジョブジョイントおおさか ②LaLa-chocolat ステップ作業場

③こども発達支援センターwill ④LaLa-chocolat TAKATSUKI店舗見学

⑤ジョブサイトひむろの5事業所を見学していただきました。



菽の杜見学

支援の様子をご覧いただいたり、事業内容の説明を行いました。質問も多く、熱心に見学をされていました。

▼濱田剛史高槻市長表敬訪問

日韓国交正常化60周年事業に認定された旨のご報告と崇徳院の事業内容などをお伝えしました。

## 【3日目】

▼北摂杉の子会事業所見学

①レジデンスなさはらもとまち ②レジデンスはぎのもり ③菽の杜 ④ふれいすBeの4事業所を見学していただきました。個別に配慮した支援やPECS（絵カード交換式コミュニケーションシステム）の取り組みなどをお伝えしました。

▼懇親会 (cafeBe)

通訳の方を介したり翻訳アプリを使ってお互いに質問をしたり情報交換を行いました。韓国の福祉制度や事業所の様子なども教えていただき、非常に有意義な時間となりました。

▼最後に

韓国でも日本と同じように人材の確保と育成は非常に重要な課題であるそうです。引き続き、交流研修を通して新たな学びを得たり、お互いに良い刺激をうけながら職員と組織の成長へとつなげていきたいと思えます。

今度は10月に私たちが韓国へお伺いする予定です。

韓国からお越しの皆さんは、とても熱心でこちらも圧倒されるくらい次々と質問をされる場面もあり、日本の支援や法人運営から色んなことを学びたいという熱意がすぐく伝わってきました。10月の訪韓の際は私たちも韓国のみなさんから多くのことを学んできたいと思えます。

▼交流研修を終えての感想をいただきましたので、ご紹介いたします。

名前	感想
キム・ドンウンさん	日本は、施設管理技師の役割が単なるメンテナンスを超えて、施設内の危機対応や利用者の利便性の改善にまで拡大している。これを通じて施設内の安全を維持し、利用者の生活満足度を高めることに寄与している。 北摂杉の子会は、施設管理の予防的メンテナンスが徹底され、問題が発生する前に備えるシステムが非常に印象的だった。特に、スマートセンサーと自動化された管理方式が効率的だった。
キム・ウンジョンさん	3日間の機関見学日程を充実に準備してくださった杉の子会に心より感謝申し上げます。 崇徳院と北摂杉の子会との海外交流事業の中で最も印象深かった点は「地域で生きていく」ことだ。「地域で生きていく」実現のために運営施設ごとに実践している方法が記憶に残り、必要なサービスを利用しながら利用者が彼らだけの地域生活を継続できるようにし、利用者と地域に必要とする居住地として施設を運営するということが最も印象的だった。 ぶれいすBeで運営しているカフェが「地域に生きる」の法人理念を自然な形で実現している理想的な方法のような気がした。 私が考える自立は「相対的自立」であり、すべてを私が自らするのではなく、私が住んでいるところで私がやりたい活動をして必要な部分があれば助けを受けたり支援を受けながら生きていく「自立」だった。 そのような面で重度知的障害のある方々が集団生活の居住施設だけにいるのではなく、1人1室のグループホームに居住しているということが本当に印象的であり、重度知的障害のある方々の「地域での生きていく方法」について考えてみるきっかけとなった。
ウォン・ソンミンさん	今回、職業訓練施設、日中活動支援事業所、共同生活援助、居住施設など多様な福祉施設を直接訪問し、共通して感じた点は障害者のための個別オーダーメイド支援が非常に体系的で細心に行われているということだ。現地の従事者の方々が親切で詳細な説明を通じて施設運営と支援内容を理解しやすく案内して下さり、特に理事が聞かせてくださった運営哲学と方向は深い印象を残した。 今回の訪問を通じて、日本と韓国の両方が障害者個別支援を重視するという点で似ているが、各国の文化と制度による差別化されたアプローチがあるということに改めて感じることができた。これを基に、今後の福祉業務にも多くの示唆点を得ることができた。
ユン・ドンソクさん	今回の北摂杉の子会の施設見学は、単なる機関訪問以上の深い響きを与える経験だった。各施設を見て回り最も大きく感じた点は、障害者を一つの固定された特性や機能で区分せず、各自の人生を尊重し主体的な存在として待遇する態度だった。特に北摂杉の子会が運営する多様な施設は「個別性」に対する尊重を実際の環境とプログラムに細心に反映していた。 その中でも個別オーダーメイド型住居環境と出退勤概念が適用された職業施設運営、そして家庭との関係の中で行われるコミュニケーション支援システムは非常に印象深かった。単純に生活を世話することで終わるのではなく、人生を設計して選択させる構造の中で障害者が「尊厳な市民」として生きていけるよう実践しているという点が感動的でした。

名前	感想
イ・ヨンホさん	今回の北摂杉の子会訪問を通じて障害者一人一人の人生を尊重するサービス哲学と、これを土台にした真心のこもった世話と専門性を直接体感することができた。 今回の経験は単なる見学を越え、これまでの障害者サービスの実践を振り返り、今後の方向性を再確立する大切な契機となった。 杉の子会の真心のこもった努力と献身に深い感謝と尊敬の気持ちを伝える。
イ・ハヨンスンさん	今回の日本障害者福祉施設の海外研修を通じて「人らしく生きていくということ」の意味に新たに向き合った。 その福祉現場は施設という空間を越え、人生の尊厳と選択の権利を実現する仕組みとして深く設計されていた。特に自閉スペクトラム症の方と感覚敏感利用者のための個別空間、静かな照明、予測可能な動線は環境自体が予防と自律の基盤になりうることを示した。 PECSを通じて言葉で表現できない人々も自分の意思を明確に伝え、日常に積極的に参加していた。 何より印象深かったのは、彼らが地域社会と自然につながって生きていくという事実だ。 今回の研修は「支援」という単語の意味を考え直させた。社会福祉士は保護者ではなく、人生の設計者として条件を作り、同行する人でなければならないことを切実に悟った。このような実践が韓国の福祉現場にも徐々に根付くように、今後の小さな実践を続けたい。
イ・ヒョンスクさん	社会福祉施設で勤務して今年で20年になるにもかかわらず、日本研修を通じてまだ分からないことが多く、足りないと感じた。 北摂杉の子会の様々な施設を見て回り、多くのことを見たり聞いたり感じたりしながら、北摂杉の子会のように障害者のために進めている多くのことを同じように進めることはできないが、一步、一步努力し、社会福祉を初めて始めてときめいた心構えを振り返り、障害者の人生において何が優先されるべきかを考えて努力する社会福祉士にならなければならないと感じた。 良い経験になるように準備してくださった北摂杉の子会の理事長以下、すべての役職員の方々にもう一度感謝申し上げます。
イ・ヘヨンスンさん	国の政策や法律によって運営されている方式や形態は異なるが、利用者を尊重し、利用者の中心で考えてケアすることはどこでも同じだと考えるようになった。もう一度こんな経験をするようになって心より感謝申し上げます、自分が担っている役割の中で最善をつくす。



高槻市長表敬訪問

名前	感想
ジャンジャン・チユンソクさん	<p>障害者共同生活援助の方向性について悩んでいたところ、今回の研修を通じて自立とは単純な生活空間の提供を越え、障害者の人権と地域社会統合という福祉の核心価値を実現することであることを深く悟った。特に高齢障害者が慣れた環境の中で尊厳性を維持し、自分の人生を主導的に生きていけるように細心に構成された環境と運営方式が印象的だった。</p> <p>防音、色彩、採光、空間分割など細部まで利用者の特性と感覚感受性を考慮した姿は単純な配慮を越え、その人の存在自体を尊重していることを感じさせた。このような環境は情緒的安定と自律性を可能にし、保護と世話を越えて生活の質向上という福祉の本質を実現していた。</p> <p>何より自立とは施設の外に出るのではなく、自分だけの空間で自らのリズムで幸せに生きていくことであることを改めて悟るようになった。このように障害者の日常に社会福祉が自然に染み込み、尊厳と真正性が共にする姿を見て深い感動を受けた。</p> <p>今回の研修を通じて「地域に生きる」という理念が単純なスローガンではなく、実際の制度と環境、人材、サービス全般に具体的に溶け込んだ現場を確認することができた。今後、崇徳院でもこのような哲学と実践がさらに拡散することを心から期待する。</p>

名前	感想
ゾンダビンさん	<p>北摂杉の子会の施設全般を見学しながら、現場の体系的な運営と専門性を確認することができた。</p> <p>施設内の利用者中心の環境造成と個人の特性を尊重する雰囲気印象深く、職員の役割遂行が明確で、サービス提供過程がマニュアル化されていて安定感が感じられた。</p> <p>また、地域社会との緊密な連携を通じて障害者福祉が多様に行われていた。</p> <p>今回の訪問で障害者福祉の方向性と質的向上について再び考えるきっかけになった。</p>
ゾソヒョンさん	<p>北摂杉の子会との交流を通じて、韓国とは違う障害者福祉を経験することができた。今まで私が持っていた障害者福祉理念と価値を振り返り、再確立できる良い時間だった。</p> <p>北摂杉の子会の強みは障害者の個別化と自律性を保障するという点だと感じ、このような点を見習わなければならないと考えた。良い経験ができるように研修を準備し、気を使ってくださった平野常務理事をはじめとする北摂の子会の職員の方々に感謝の言葉を伝える。</p> <p>引き続き、北摂杉の子会との交流を通じてお互いの強みを学び、発展して障害者が住みやすい世の中を作ってほしい。</p>



LaLa-chocolat 事業説明



制度や経営についての意見交換



自閉スペクトラム症の特性理解の研修



アセスメントに関するグループワーク

## 絵カード交換式コミュニケーションシステム (PECS)®

### PECS®ってなに？

アンディ・ボンディ (Ph.D.) とロリ・フロスト (MS.CCC-SLP) によって開発されたコミュニケーション支援システムです。PECSは6つのフェイズ(段階)から成り立っており、対象者が一枚の絵カードを“コミュニケーションパートナー”に渡すところから始まります。絵カードを渡されたコミュニケーションパートナーはすぐにその交換を要求として受け取り、要求を叶えてあげます。次に、絵カードの弁別(認識)を教え、そしてどのように文を構成するのかを教えます。さらに上のフェイズでは、対象者は修飾語を使ったり、質問に答えたり、コメントしたりすることを教わります。PECSの最優先の目標は機能

的コミュニケーションを教えることです。

研究の中では、PECSを使っている中で発語が出るようになった生徒もいることがわかっています。音声表出機器(SGD)に移行する方もいらっしゃいます。PECSがエビデンススペースの介入であり、PECSの効果を実証する研究は沢山発表されており、増え続けています。今現在世界中で150以上の研究が発表されており、PECSの効果を裏付けております。

ピラミッド教育コンサルタントオブジャパン(株)のオフィシャルホームページより抜粋  
<https://pecs-japan.com/>

# 積水化学住宅紹介制度のご案内

平成13年12月より、積水化学工業株式会社さまの社会貢献活動の一環として、法人と独自の積水化学住宅紹介制度をご締結していただいております。「セキスイハイム」「セキスイツーユーホーム」の住宅商品をご購入される場合、積水化学工業株式会社さまよりご支援をいただける制度です。ぜひこれからもこの活動にご支援、ご協力たまわれますようよろしくお願い申し上げます。

ご希望の方は法人本部までご連絡をお願いいたします。

## 制度内容

### ◎ご紹介者に対する支援

ご紹介 1 件につき…………… 6,000円分の商品券(クオカードQUOPay)

※ただし、面談アポイント有の場合のみ

ご紹介者の同行ありの場合 … 5,000円分の商品券(クオカードQUOPay)

### ◎ご成約者に対する支援

建物の本体価格の3%を割引

### ◎ご成約にいたった場合のご紹介者に対する支援

北摂杉の子会後援会へ60万円支援(実紹介者へはそのうち10万円を支援)

連絡先：法人本部 後援会 担当 佐々木

TEL 072-662-8133

FAX 072-662-8155



時を経ても、続く価値を。  
**SEKISUI HEIM**  
Unit Technology for the Future

営業32年  
介護住宅や  
アパート等  
もやります。

法人紹介店 迫田哲也(サコダ テツヤ) TEL 080-3025-3203



## その人らしく働き続けるために ～ アクトおおさかでの自己理解支援を通して ～

大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか  
相談員 奥野 加奈子

### ■ はじめに

大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか（以下、アクトおおさか）へ相談に来られる方は、知的障がいを伴わない発達障がいの方や一般雇用で働かれている方が多く、困り感を持ちながらもご自身で考えた対処法のみで働かれていることも少なくありません。特に成人期に診断を受けられた方は、これまで勉強面では問題がなかったなど表面的には障がいがあるように見えづらく、凸凹のある特性かつ高機能であるがゆえに、ご本人のしんどさが周囲に理解されづらい現状があります。

一般雇用で働かれている方は、すでに定職に就いていることや自身の努力でなんとかしたいという思いから、就労支援などのサービス利用にも繋がりがづらい現状があります。2024年4月に施行された改正障害者差別解消法により、これまでは努力義務であった民間事業者の合理的配慮提供が法的義務化されました。障がい者雇用においては、2018年より発達障がいを含む精神障がい者の雇用が義務化されましたが、他障がいに比べその歴史も浅く、一般雇用で働かれている方へのサポートにはさらなる課

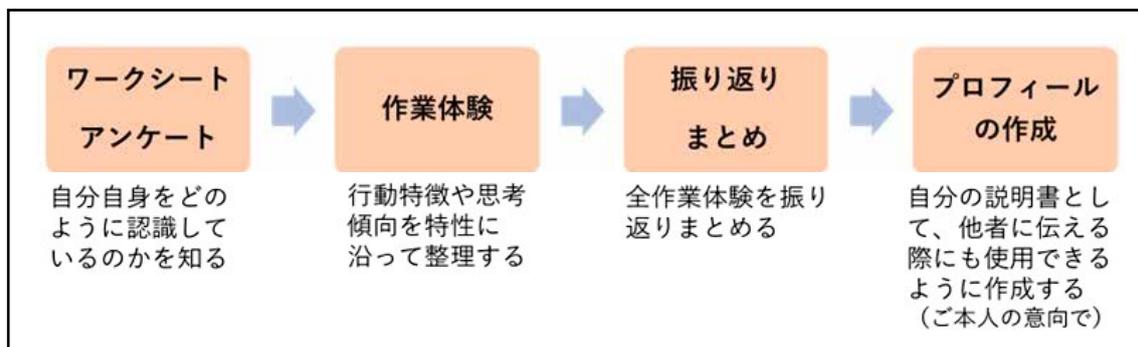
題が残されています。

ご本人が自身の得意を活かし、苦手な部分のサポートを得ながら合った職場で働き続けるためにも、自己理解のプロセスと一緒に伴走する支援者が必要です。また、発達障がいのある方がその人らしく働き続けることをサポートするためには、企業への発達障がいの理解促進も求められます。アクトおおさかでは、そのような一般雇用で働かれている方を、自己理解のサポートと企業への代弁を通して支援しており、その方法と効果について報告させていただきます。

### ■ 実施内容

アクトおおさかでの自己理解支援は、すべての相談者の方を対象に実施しているわけではなく、ご本人の現状や希望を聞き取ったうえで、ご本人と相談し、実施するかを決定しています。ご本人の自己理解を支援すると同時に、支援者もアセスメントを行う中でご本人への理解を深めています。自己理解支援の基本的な流れを図1に示しました。なお、ご本人の自己理解の度合いやご本人を取り巻く状況に合わせて、内容や回数は変えています。

図1：アクトおおさかでの自己理解支援の基本的な流れ



まず、ワークシートやアンケートに自分について知っていることをご記入いただきます。それぞれの項目を深める質問をし、聞き取りを行うことで、ご本人の気づきを促しています。

また、言葉のやりとりのみでなく、作業体験を通して実際の行動を観察することで特性が生活上の困り事にどう影響を及ぼしているのかをアセスメントし、作業体験についてご本人と一緒に振り返りながら、こちらがアセスメントした内容をご本人とも共有しています。

作業体験の具体的な例を挙げると、一人で黙々と

取り組むチラシ折りの作業や名刺を分類する作業の他に、段取りを考える必要のある旅行計画や、コミュニケーションを取りながら進めるティーサービスなどがあります。(図2参照)

作業体験後は、気づいたことや分かったことに関する情報をご本人にとって分かりやすい形で整理し、まとめていきます。得意や苦手を表で整理する方が分かりやすい方もいれば、氷山モデルを使って行動の背景から考える方が分かりやすい方など、さまざまです。(図3参照)

図2：作業体験の例

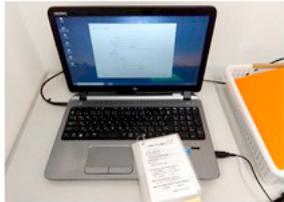
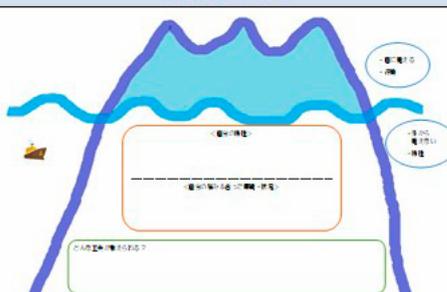
チラシ折り	名刺分類	ピッキング
		
<体験の目的> ・手順書から情報を読み取る ・折る位置をどこまで厳密に捉えるか など	<体験の目的> ・段取りを考えて取り組む ・視覚的な情報に注目し見分ける ・分からない時は質問する など	<体験の目的> ・在庫表の情報を読み取る ・数を数えて物品を取り出す など
PC入力	旅行計画	飲み物づくり&ティーサービス
		
<体験の目的> ・見本を確認しながら入力する ・ミスを見つけて修正する など	<体験の目的> ・必要な情報を採り出す ・段取りを考えて取り組む ・予算内で計画を立てる など	<体験の目的> ・必要な道具を選んで使う ・場面に合わせた言葉を使う ・聞いた注文内容のメモを取る など

図3：振り返りとまとめの例

作業体験ごと	氷山モデルから																																																																		
<作業体験振り返りシート> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業内容</th> <th>誰</th> <th>何で行</th> <th>振り返り内容</th> <th>得意</th> <th>苦手</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>チラシ折り</td> <td>自分</td> <td>手作業</td> <td>見本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボールペン組み立て</td> <td>自分</td> <td>手作業</td> <td>見本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボールペン組立</td> <td>自分</td> <td>手作業</td> <td>見本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ボールペン組立</td> <td>自分</td> <td>手作業</td> <td>見本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>名刺分類</td> <td>自分</td> <td>手作業</td> <td>見本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ピッキング</td> <td>自分</td> <td>手作業</td> <td>見本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>PC入力</td> <td>自分</td> <td>手作業</td> <td>見本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅行計画</td> <td>自分</td> <td>手作業</td> <td>見本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ティーサービス</td> <td>自分</td> <td>手作業</td> <td>見本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>飲み物づくり</td> <td>自分</td> <td>手作業</td> <td>見本</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	作業内容	誰	何で行	振り返り内容	得意	苦手	チラシ折り	自分	手作業	見本			ボールペン組み立て	自分	手作業	見本			ボールペン組立	自分	手作業	見本			ボールペン組立	自分	手作業	見本			名刺分類	自分	手作業	見本			ピッキング	自分	手作業	見本			PC入力	自分	手作業	見本			旅行計画	自分	手作業	見本			ティーサービス	自分	手作業	見本			飲み物づくり	自分	手作業	見本			 <p>氷山モデルから振り返りを行う際の視座を整理するための図です。水面以上は「見える部分（行動）」、水面以下は「見えない部分（背景）」と示されています。</p>
作業内容	誰	何で行	振り返り内容	得意	苦手																																																														
チラシ折り	自分	手作業	見本																																																																
ボールペン組み立て	自分	手作業	見本																																																																
ボールペン組立	自分	手作業	見本																																																																
ボールペン組立	自分	手作業	見本																																																																
名刺分類	自分	手作業	見本																																																																
ピッキング	自分	手作業	見本																																																																
PC入力	自分	手作業	見本																																																																
旅行計画	自分	手作業	見本																																																																
ティーサービス	自分	手作業	見本																																																																
飲み物づくり	自分	手作業	見本																																																																
項目ごと（大まか）	項目ごと（細かく）																																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>得意なこと・分野</th> <th>苦手なこと・分野</th> <th>理解や認識があると思われること</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ご自身で工夫や対策されていること</p>	得意なこと・分野	苦手なこと・分野	理解や認識があると思われること				<table border="1"> <thead> <tr> <th>作業項目</th> <th>得意なこと・分野</th> <th>苦手なこと・分野</th> <th>理解や認識があると思われること</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>チラシ折り</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>名刺分類</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ピッキング</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>PC入力</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅行計画</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ティーサービス</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>飲み物づくり</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	作業項目	得意なこと・分野	苦手なこと・分野	理解や認識があると思われること	チラシ折り				名刺分類				ピッキング				PC入力				旅行計画				ティーサービス				飲み物づくり																															
得意なこと・分野	苦手なこと・分野	理解や認識があると思われること																																																																	
																																																																			
作業項目	得意なこと・分野	苦手なこと・分野	理解や認識があると思われること																																																																
チラシ折り																																																																			
名刺分類																																																																			
ピッキング																																																																			
PC入力																																																																			
旅行計画																																																																			
ティーサービス																																																																			
飲み物づくり																																																																			

ご本人の意向に合わせて、プロフィール表を作成する場合があります。特に、一般雇用で働かれており地域の支援者とも繋がっていない方は、自分で特性や配慮事項を企業に伝えることが求められる場合もあるため、自分の説明書として特性を他者に伝える際にも使用できるように作成します。

自己理解が深まった上で、ご本人の困り事に対して、ご本人に合った工夫や環境を考えていきます。また、周囲に理解やサポートしてもらいたいことについても整理します。ご本人のことを知る支援者の視点があることで、よりご本人に合った工夫や配慮・環境調整を考えやすくなり、ご本人が安心して働き続けることに繋がります。

ご本人にとっては周囲の理解も大切な環境の一部です。ご本人の希望に合わせて、職場やご家族への代弁も行い、理解促進を図っています。代弁内容は、ご本人の特性や、職場で実践している工夫、働きやすい環境、配慮やサポートがあると助かることなどです。

代弁を行う前にはご本人と打ち合わせを行い、ご本人のニーズを中心に、伝えたいことや伝えたくないことを考えます。合理的配慮に関する情報も併せて提供し、ご本人と企業がお互いに折り合えるポイントを話し合っ整理することが大切だと説明しています。企業には、アクトおおさかはあくまでもご本人の代弁機能であることと、ご本人の強みや、ご本人がご自身で工夫されていることも強調して伝えるようにしています。

## ■ 実施の効果

自己理解支援を行った効果の例を紹介します。

### <ご本人への効果>

#### ①自己理解が深まったことによる効果

- 自身の強みや得意なことなどのポジティブな面気づくことができた。

#### ②ご本人に合った工夫や環境を考えたことによる効果

- 工夫を試行錯誤する中で職場でのミスが減り、努力した自分を認められるようになった。工夫して上手くいった体験を積み重ねることで、前向きになり、自信の回復に繋がった。

### ③代弁支援の効果

- 他者に理解してもらえたという経験や、相談がうまくいったという成功体験に繋がった。自分と他者をつないでくれる通訳者の存在(アクトおおさかの担当者や理解を示してくれた職場の方など)がご本人の安心に繋がった。

### <会社への効果>

- 大切な働き手である従業員が長く働き続けるために、会社としても何ができるかと悩んでいたが、ご本人のことや具体的な配慮方法を教えてもらったことで、どうサポートして良いかが分かった。

## ■ まとめ

成人期に診断を受けた方が一人で自己理解を深めていくことは容易ではありません。支援者が本人を理解しようとする姿勢で接すること、ご本人のペースに合わせて一緒に振り返り、共有しながらご本人の理解を深めていくことが大切であると考えています。

代弁支援は、ご本人だけでなく企業にとってのメリットも大きく、アクトおおさかで整理した特性と、その特性に基づいた工夫やご本人に合った環境を説明することで、企業としてのサポートを考えやすくなります。また、ご本人が職場で困った時に、身近な理解者の存在がご本人の安心や、所属先の中で困り事を解消できることにも繋がります。加えて、企業への機関支援も大切にしており、ご本人との関わりの中で難しく感じた場合は、アクトおおさかといつでも連携が取れることを伝え、企業へのバックアップも行っています。

職場の少しの変化でご本人の働きやすさは変わるため、一度の特性整理でご本人の生活が永続的に安定する訳ではありません。また、アクトおおさかも府域の3次機関という役割があるため、一機関のみでご本人を支援し続けることには限界があります。制度の狭間にいる方が必要な支援を受けられるように、また、身近な地域で自分らしく安心して暮らしていけるように、関係機関との連携強化は不可欠です。アクトおおさかは発達障がい専門機関として、ご本人の自己理解支援やご家族の支援等において大切な視点を引き続き伝えていくことで、地域にご本人の理解者となる支援チームの輪を作って広げていきたいと考えています。



# 杉の子 いいね!

凸レツツ凸  
クリエイティブ  
アート!

当法人のご利用者には、様々な特技をお持ちの方や表現活動(絵画・詞・陶芸等)を行っている方がたくさんおられます。このコーナーでは、そういった活動を紹介しています。たくさんの読者に「いいね!」「共感した!」という想いを届けたいと考えています。

## ジョブジョイントおおさか



ジョブジョイントおおさかでは、毎年カレンダーと缶バッチを作成し、企業や大学など、関係機関にお配りする取り組みを行っています。今回はカレンダーと一緒に配布している缶バッチをご紹介します。

毎年缶バッチにする作品を募り、そのなかから投票して選んでいます。ご紹介する作品は2024年度の応募作品です。イラストのテーマは「仕事」です。それぞれのイメージする「仕事」が作品に込められています。

## LaLa-chocolat TAKATSUKI



ララショコラでは月に1回程度「エンジョイクラブ」でいろいろなレクリエーションを楽しんでいます。今回はエンジョイクラブで制作したオリジナルカルタをご紹介します! 制作を担当するひらがなは当日にくじ引きをして決めま

した。担当が決まると、真剣に考える方、周りと相談しながら作る方など、皆さんそれぞれの作り方でステキなカルタを仕上げてくださいました。皆さんの創作意欲が溢れてあっという間にカルタが完成しました! その後のカルタ大会も白熱した試合となりました。

# 掲示板コーナー

(令和7年3月から令和7年5月まで)

## 法人事業部 掲示板

3月	行 事
1日	内定者ご家族対象法人説明会
3日	マイナビ福祉就職イベント
5日	法人事業部管理会議
6日	FUKUSHI meets!
7日	運営会議 第8回新入職員研修
8日	大阪府社会福祉協議会就職フェア 福祉のお仕事就職フェア in OSAKA
10日	経営会議
14日	医療連携推進室会議
16日	2025 たかつき福祉就職フェア
19日	法人採用説明会
21日	運営会議
24日	経営会議
31日	第161回理事会 第1号議案 組織再編 第2号議案 規則規定改定 第3号議案 令和7年度事業計画案 第4号議案 令和7年度予算案 第5号議案 評議員候補者選定 第6号議案 評議員選任・解任委員会招集の件 第7号議案 評議員会開催 第8号議案 理事長執行状況報告

4月	行 事
1日	入職式(安満遺跡公園にて) 第1回新入職研修(・対人援助専門職とは?・サービスマナー・ご家族の立場から)
2日	自閉症啓発デー 法人事業部管理会議
7日	法人採用一次面接
11日	法人事業部管理会議 運営会議

4月	行 事
14日	経営会議
15、16日	法人採用一次面接
19日	令和7年度 第1回法人研修 ・令和7年度年度方針について ・第5次中期計画の進捗報告 ・資格取得表彰、eラーニング表彰 ・新入職員紹介 ・PECS実践報告会 ・職員交流企画
24日	権利擁護虐待防止委員会
25日	運営会議
28日	経営会議

5月	行 事
2日	医療連携推進室会議
7日	法人事業部管理会議
9日	運営会議 第2回新入職員研修(自閉スペクトラム症の特性について)
12日	経営会議
23日	運営会議
26日	第162回理事会 第1号議案 理事監事候補推薦 第2号議案 評議員選任・解任委員の選任 第3号議案 各種規程類変更 第4号議案 令和6年度事業報告 第5号議案 令和6年度決算 第6号議案 監事監査報告 第7号議案 理事長職務執行状況 第8号議案 当座貸越設定の件 第9号議案 役員報酬の件
27-29日	韓国 忠清北道障害者総合福祉館との交流研修

(奥平 記)

入職式



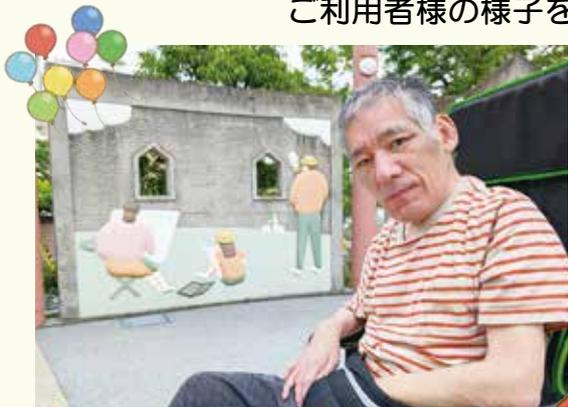
法人採用説明会



萩の杜 掲示板

～「レジデンス はぎのもり」が開所いたしました～

ご利用者様の様子を少しでもお届けします！



～萩の杜～



畑へ収穫に行きました



ダムまでドライブしました。  
暖かくなって  
お散歩日和です！

(松本 記)

## ジョブサイトひむろ掲示板



### 安らぎ空間で楽しむオシャレ

今年のジョブサイトひむろのひな祭りは、希望者はアロマハンドトリートメントも受けながらのメイク時間でした。いつもと違う自分を楽しみながら、アロマの良い匂いと気持ちいいマッサージに心安らぐ一日でした♪



### 窓辺で黄昏れる・・・



## Spring ひむろの “春” 特集



ふとした日常 ☺

### 愛する飛行機

大好きな飛行機を見に、モノレールで伊丹空港へ出発！展望デッキに着くと飛行機に夢中なお2人... 集中して約1時間ものあいだ、飛行機の形や動きに魅入っておられました。



### 日頃の「ありがとう」

コミュニティ3グループで、母の日のお手紙制作をしました。送迎の際に直接お渡しした時の、お母さまとご利用者さまの溢れる笑顔がとっても素敵でした ✨



### “春”をパシャリ

お散歩中に会った綺麗な桜。今年の春を目に焼き付けながらもカメラでパシャリ！カメラ越しに桜を見つめる表情も、イキイキと色づいています。



(井上・村岸 記)

## アクトおおさか Topics!!

### ～令和6年度の事業のご報告～

アクトおおさかでは、センター開設当初から発達障がいのある方やご家族からの直接的な相談をお受けするとともに、発達障がいのある方やご家族を支援している支援者のサポートや、発達障がいのある方が暮らしやすい地域づくりのための間接支援にも重点を置いた事業を展開してきました。今回は令和6年度の相談実績と事業について報告いたします。



- 家庭支援の充実：ペアレント・メンター事業
- 関係機関とのネットワーク構築：連絡協議会など
- 普及・啓発：府民や支援者対象の公開講座・研修
- 支援体制の構築や人材育成：コンサルテーション事業

### ○相談実績



令和6年度の相談者数は、実人数が1101件、延人数が1573件でした。全国的にセンターへの相談者は知的障害の伴わない発達障がいのある方、未診断の方、成人期の方が増加傾向にあります。アクトおおさかでも、診断がある場合は自閉スペクトラム症の方が最も多く27%、次にADHDの方が18%と続いています。不明も含む未診断の方は全体の約4割を占めており、医療機関で「疑い」や「傾向」などと言われたり自身で疑問をもたれたりして、相談につながる方も多いです。年齢層は19～29歳の方が最も多く、次いで30代、50～60代前半の順に多くなっています。お子さんへの療育などの支援体制はすでに市町村で整備されてきているため、センターへの相談においては成人期の方の割合が高くなっていると考えられます。近年では60～70代以上の方の相談も増えており、国の動きとしても高齢期支援の在り方について議論されています。いかなる年齢の方であっても、発達障がい特性のアセスメントに基づいた支援・環境調整の視点が重要です。引き続き、正しい特性理解の普及啓発を進めてまいります。

## ○大阪府ペアレント・メンター事業

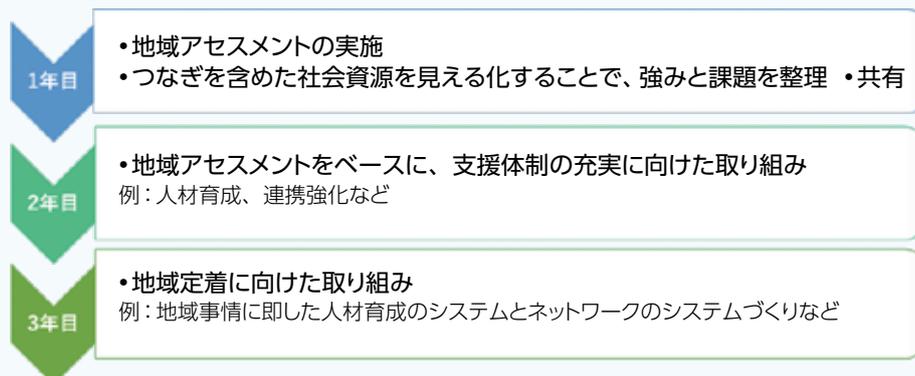
発達障がいのあるお子さんを育ててこられた先輩保護者であるペアレント・メンター（以下、メンター）が、子育てに関する経験談の紹介や、親目線での情報提供等の活動を通して、発達障がいのあるお子さんがいらっしゃるご家族をサポートしています。

令和6年度は過去最高の29件の依頼があり、1388名の方にメンターの方のお話を聞いていただきました。参加者アンケートでは、メンターの方のお話を聞いて「とても参考になった」「参考になった」という感想が99.5%を占めており、ご家族からは将来の見通しや不安の解消に繋がっていること、支援者等からはお子さんだけではなくご家族への支援の重要性に触れられた感想が多く聞かれています。令和7年度は新しい取り組みとして、メンターの方に向けて事業に関する情報を発信するMentor Letterの発行も開始しました。今後もメンターの方に安心してご活動いただけるよう、事務局としてサポートに努めてまいります。

## ○大阪府発達障がい者地域支援力向上事業

発達障がい者地域支援マネジャーを市町村（自立支援協議会など）に派遣し、地域の発達障がい児者支援体制整備についての助言などを行っています。市町村行政を中心に、障がい福祉に留まらず、関連分野（子育て・教育・労働等）と連携しながら、市町村の支援力向上と支援体制の機能強化、ライフステージを通じた一貫した支援体制の構築を目指しています。

発達障がいのある方々の支援を考える上で、継続性と一貫性のある支援体制の構築を行うことが大切になります。具体的には、地域の支援者の人材育成を行うこと、支援者間や機関間のネットワークを構築すること、そして、自分たちの地域の現状や課題を評価し次に向けて何が必要かを整理する「地域アセスメント」を行うことが必要になります。大阪府にも経年で市町村をサポートする必要性について働きかけた結果、令和6年度以降は3年連続でサポートする枠組みとなっており、5市にご活用いただきました。以下の図は、3年間の活用の流れの1例です。



令和6年度の取り組みをふまえ、令和7年度も各市町村のニーズや現状に応じた具体的な取り組みを行うとともに、令和8年度以降も事業を継続していけるように、大阪府にも働きかけていきたいと考えております。

（奥野 記）



児童発達支援部

Link



指先を使っておぼけをボールで倒したよ!



先生と協力してユーフォーキャッチゲームをしたよ!

Will



発達検査をしました



ボールコロコロ



せんせいとべんきょう

豊中市立児童発達支援センター[通所部門]



5月にあゆみ同窓会♪  
みんなでおやつ時間 😊



カラフルで保護者講座を実施しました!



工作の時間にコースターを作ったよ 😊

(西野・高本・瀬川 記)

ジョブサイトよど/ジェイ・ブランチよど掲示板

ジョブサイトよど

【 創作活動 】

【 外出活動(お花見・ゴミ拾い) 】

☆ 表彰 ☆

1カ月でたくさん  
来所できたため

【 クッキング 】

♪ お散歩 ♪

阪急電鉄の  
ミャクミャクラッピング  
車を見に行く

ジェイブランチよど

【 2024年度スライドショー 】

2024年度の写真を振り返りながら  
みんなで昼食を食べました!

【 カラオケ 】

恒例のカラオケでは、それぞれが  
思いのままに楽しみました♪

(桑田・西野 記)

ふれいすBe 掲示板

ペットボトルキャップアート



ペットボトルのキャップを細かく切り、アイロンで温めて押し伸ばしたものをハサミで切り、キーホルダーやアクセサリを作成しています。各工程をご利用者に担当していただき、新しい活動として取り組んでいただいています。7月ごろより、Café Be にて販売予定です。ぜひ、お手に取ってご覧ください!

花見



お出掛け



ダムパーク  
いばきた

ニフレル

藤の花・パフェ作り



(八木・西垣・埜 記)

## ジョブジョイント (JJ) おおさか 掲示板

3月	行	事
1日	十三オフィス:OB同窓会	
8日	土曜開所日 (ゲーム大会)	
10日	企業実習 2名 (物流会社での軽作業)	
	勉強会 (しごと) 面接官になろう	
29日	土曜開所日	
4月	行	事
3日	自立訓練:お花見@摂津峡公園	
7日	勉強会 (しごと) 模擬面接資料作り	
21日	企業実習 (スーパーマーケットでの軽作業)	
22日	企業実習 (エステサロンでの軽作業)	
26日	OB会 (シュミラボ)	
	土曜開所日	
5月	行	事
10日	土曜開所日 (外出:京都水族館)	
12日	企業実習 (大手食品会社での事務系軽作業)	
14日	自立訓練:キャリア探求プロジェクト@ライブ高槻城西店	
19日	企業実習 (大手食品会社での事務系軽作業)	
24日	土曜開所日 (ゲームクラブ)	
26日	企業実習 (大手食品会社での事務系軽作業)	
29日	自立訓練:調理実習 (お弁当をつくろう)	

(宮本、森田 記)

### ①就労移行(プレゼンチャレンジ)

毎週水曜日午前中に「プレゼンチャレンジ」というプログラムがあります。ご利用者の皆さんはそれぞれ自分でテーマをひとつ決めて、そのテーマについて資料を集めたり知っている知識を模造紙もしくはパワーポイントにまとめます。今回は発表会でした。自分の興味関心があることや好きなことをテーマにしているので、皆さん生き生きハキハキとプレゼンテーションしています。「この時間がとても楽しい」「他の意見や知識が知れてよかった」など発表後の振り返りでは毎回前向きな感想があります。



### ②自立訓練(ヘルスケア)

#### 桜堤公園へウォーキングに出かけました

ヘルスケアでは、桜堤公園までウォーキングに出かけました。ちょうど公園内にはたくさんのこのぼりが泳いでいたので、記念の写真を撮りました。5月の心地よいお天気の中、良い気分転換ができました。ヘルスケアというプログラムでは、運動で体を動かしたり、リラックスできる方法を探して試したりしています。



### ③OB会

3月に十三オフィス閉所前に、就職された皆さんの同窓会をしました。お忙しい中、40名ほどの方々に来ていただきました。お互いに近況について話し合ったり、記念に写真を撮ったり、スタッフと昔話をしたりなど、楽しい時間を一緒にさせていただきました。来ていただいた方々、改めてありがとうございました。



# LaLa-chocolat TAKATSUKI 掲示板



## 最近のお仕事をご紹介します！



## 春のお出かけを楽しみました♪



### Instagramのご紹介

お店の情報をアップしていますので、ぜひご覧ください♪

## 夏商品のご紹介

いつもご愛顧いただき誠にありがとうございます。  
店頭では新商品も詰め合わせた夏ギフトをはじめ、夏季限定商品を多数ご用意しております。

また、今年の高つきレモンショコラは杉の子会で栽培したレモンを使用しております。

お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。  
皆様のご来店心よりお待ちしております。



数量限定  
高つきレモンショコラ

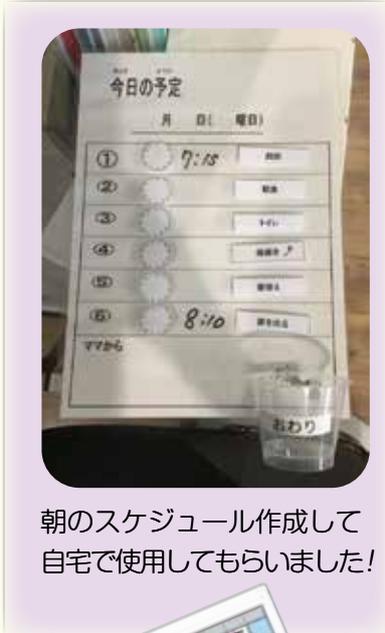


夏ギフト



(中田 記)

## ～訪問の様子～



ハサミでプリントを切ってから  
折り紙で火星人を作りました♪



## ～訪問看護ステーションの移転のお知らせ～



令和7年4月より、  
本部近くの城北町の事務所がサテライトとしてスタート！  
訪問看護ステーションは城西町へ移転しました！！



近くにお越しの際は、  
是非お立ち寄り  
くださいね！



すぎのこちゃん



## 萩の杜家族会 掲示版

3月	行	事
10日	通所部 茶話会 (からふね屋珈琲 高槻店) 6名出席	
11日	イオン黄色のレシートキャンペーン (関連店での買い物協力依頼)	
27日	サークル萩 (今城塚公民館)	
4月	行	事
11日	イオン黄色のレシートキャンペーン (関連店での買い物協力依頼)	
20日	令和7年度家族会定期総会 (クロスバル高槻) 22名出席 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度活動報告</li> <li>・令和7年度役員選出 活動計画案 予算計画案</li> <li>・法人より 松上理事長挨拶 勝部施設長 今年度 運営方針</li> </ul>	
24日	サークル萩 (今城塚公民館)	
5月	行	事
11日	イオン黄色のレシートキャンペーン (関連店での買い物協力依頼)	
22日	サークル萩 (今城塚公民館)	

(池永 記)

令和7年4月20日(日)年に一度の家族会総会を無事終わりました。

昨年度は訃報が相次ぎました。萩の杜開所以来25年!30年前に必死の思いで建上げた親達は80才を越えました。長年心一つに活動してきた5名の仲間を失い本当に残念でなりません。

特に中村節史様は、法人の2代目の理事長を10年務めていただきました。ご冥福を心よりお祈りします。今までありがとうございました。皆様のことは決して忘れません。

懸案だった家族会費の減額について役員会で議論を重ねた提案が了承されました。(月/10,000円→月/7,000円)に。

利用者の高齢化対策としてグループホームの新設と萩の杜の改造計画がありましたが、念願がかないいよいよ今年度スタートすることになりました。人材確保を含めて、法人の事業運営の厳しい中、実現出来たことに感謝します。

これからは医療的ケアが日常的に受け易い16名の利用者の暮らしが「レジデンスはぎのもり」で始まります。

職員の皆様には、これから日頃の何倍にもなるお仕事になり大変だと思いますがよろしくお祈りします。

今村

### 家族会総会



## ジョブサイトひむろ家族会 掲示板

3月	行 事
13日	第9回役員会（高槻市地域福祉会館3階会議室）定期総会資料準備確認
17日	家族会会長会（高槻市立生涯学習センター第3会議室）金谷会長出席

4月	行 事
8日	会計監査（法人本部会議室）会計監査報告書作成 第10回役員会（法人本部会議室）定期総会資料作成作業・配布手配
16日	グループホーム新設希望者の会 見学会開催 13名参加 見学先 花の会グループホーム（かしおべあ・かとれあ・つばき）
22日	定期総会（クロスパル高槻 5階 視聴覚室） 家族会会員：出席51名（委任状11名含む） 欠席3名＜会員総数54名＞ 第1号議案 令和6年度行事活動報告 第2号議案 令和6年度会計報告及び会計監査報告 第3号議案 令和7年度役員及び会計監査・参与選任 第4号議案 令和7年度行事計画 第5号議案 令和7年度予算計画 以上の議案すべて承認 ・松上理事長より「令和7年度北摂杉の子会年度方針策定」説明 ・平野常務理事より「法人現状報告」 ・下日中活動支援部総括部長より「日中活動支援部事業目標」説明 ・森田施設長より「令和7年度事業計画」説明

22日	<令和7年度 役員>
	会 長 金谷 健
	副会長 唐木 崇行 ・宮階 和子（新任）
	会 計 大東 由貴 ・妹尾 恵美子
	事務局 山田 信子 ・瀬戸 洋子
	・青木 祐実（新任）・玉田 里子（新任）
	会計監査 梁 恵子
参 与 平野 貴久 ・森田 耕平	
<新会員 1名> 大西さん	
*懇親会（40名出席） 於 つきの井	

5月	行 事
1日	旧役員慰労会 かごの屋にて開催
29日	第1回役員会（高槻市地域福祉会館3階会議室） <議題> ①自己紹介、役員連絡先の確認 ②諸経費の精算方法の確認 ③今後の役員会・定例会の確認 ④7/24第1回定例会の準備 ⑤ひむろ近況報告 ⑥さくら連絡網の利用者・未利用者含めた「（役員向け）家族会連絡網」 ⑦会計報告 ⑧「グループホーム新設希望者の会」活動報告 ⑨その他

（瀬戸 記）

4月22日、総会の後、5年ぶりに懇親会をつきの井にて開催いたしました。  
（出席40名）

### 懇親会



## ジョブサイトよど家族会 & ジェイ・ブランチよど家族会 掲示板

3月	行	事
4日	3月定例会（淀川区民センター） 「1年の振り返りと2025年度事業計画について」 法人：下部長 ジョブサイトよど家族会（出席：4名） ジェイ・ブランチよど家族会（出席：2名）	
8日	合同役員会（ジョブサイトよど1階）	
17日	家族会会長会（高槻市生涯学習センター） 出席：永井会長、玉木会長	
4月	行	事
23日	合同総会（淀川区民センター） 法人来賓：松上理事長、下部長、原田副部長、森口ST ジョブサイトよど家族会（出席：10名） ジェイ・ブランチよど家族会（出席：2名） 合同役員会（淀川区民センター） 総会終了後、役員に資料配付	
5月	行	事
	活動なし	

(永井 記)

## ふれいすBe家族会 掲示板

3月	行	事
12日	役員会	
17日	家族会会長会	
4月	行	事
4日	会計監査	
12日	ふれいすBe家族会総会 第1号議案 2024年度活動実績 第2号議案 2024年度収支報告及び会計監査報告 第3号議案 2025年度役員及び会計監査、参与の選出 第4号議案 2025年度活動計画案 第5号議案 2025年度予算計画案 全て全会一致で承認された。	
16日	役員会	
5月	行	事
14日	役員会	

(芦川 記)



## 北摂杉の子会 後援会 掲示板



本会の活動に対して多くの方々や企業、団体、また法人家族会の皆様のご支援を頂き、誠にありがとうございます。今後ともより一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### <報告事項>

#### I 会員数の動態と資金について

	個人会員数	納入率	団体会員数	納入率	寄付
4月	623	(2%)	36	(6%)	1
5月	623	(3%)	36	(0%)	1

#### 5月末現在の増減・累計

個人：0名 団体：0 寄付：2名

資金 会費：180,000円 寄付：13,000円 合計：193,000円

II 前年度は会費、寄付金合わせまして1,728,000円の資金を頂戴いたしました。

今年度5月末までに会費、寄付金合わせまして193,000円の資金を頂戴いたしました。

ご支援、ご協力に感謝申し上げます。

III 定例役員会を開催し下記の案件について確認。  
(議事録抜粋)

日 時) 2025年6月2日 (月)

参加者) 役員9名中7名が出席、相談役1名中1名が出席

#### 1. 2024年度の活動

##### 1) 会員数

個人会員：622名、団体会員：35団体、合計：657名/団体

##### 2) 後援会費及び寄付収入

後援会費：1,134,000円、寄付：594,000円、合計：1,728,000円

##### 3) 経緯

###### ・法人への寄付

2025年3月に200万円（ジョブサイトひむろ新施設備品の購入費用に充当する。）

・セキスイハイム住宅紹介制度：2024度は実績なし。

・定例役員会（2024年5月）に加えて臨時役員会を3回開催し（2024年8月、2024年11月、2025年2月）、資金集めの方法などを話し合った。

・全ての家族会会員を対象として加入依頼のお願い文書を個別に発信してきた。

・後援会に加入された会員にララショコラの会員特典を付与することとした。

・会員維持、拡大のための課題分析を行った。

・団体会員について新規会員案内を実施した。

・SNS等の活用の検討を始めた。

#### 2. 2024年度の収支と会計監査報告

##### 1) 収入

前期繰越金：763,287円、寄付金：594,000円、後援会費：1,134,000円、受取利息：1,075円、収入合計：1,729,075円

##### 2) 支出

事務費：6,220円、通信費：30,480円、雑費：29,131円、その他：11,165円、法人への寄付：2,000,000円、支出合計：2,076,996円

##### 3) 次期繰越金

415,366円（2025年3月31日現在）

(平野 記)

## 寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。寄付金と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。

お振込みは右記口座まで。

皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

既に今年度、後援会会費をいただいた方には重ねてのご案内になりますことを、どうかご容赦ください。

### 記

#### 1. 寄付金(注)

2. 個人会員 年間一口 2,000円

3. 団体会員 年間一口 10,000円

郵便振込口座 北摂杉の子会  
00920-8-90859

(注) 任意団体である後援会の領収書では確定申告の際に寄付金控除を受けることは出来ませんので、寄付金控除の出来る領収書をご希望の方は法人の下記口座にお振込み願います。

銀行名：三菱UFJ銀行 支店名 高槻支店 口座名：社会福祉法人北摂杉の子会

口座番号：508555

# ～ 皆様の温かいご支援に 感謝いたします ～



令和7年3月1日～令和7年5月31日

法人へのご寄附に感謝いたします。

福本宏 畠山洋

後援会入会と会費納入に感謝いたします。

八友聡 笠原隆之助 笠原年子 森本信之 篠原琴美 三輪智 木下光代 米田たか 山尾郁保 山尾扶美  
山尾壮志 柄須賀重雄 柄須賀早智子 榎本貴夫 浅野一夫 畠山和代 畠山洋 佐藤康子 村山宣明  
村山靖子 池下貞子 井上誠子 今中貴子 垣本寿也子 中村淑子 今村一二三 今村圭子 今村暢也  
今村聡之 今村誠吾 今村美佐代 今村洋子 永井昌明 具志堅進 具志堅郁子 竹内知子  
カトリック高槻教会 株式会社 クリエイトプランニング 株式会社 二井清治建築研究所 匿名3人

後援会へのご寄付に感謝いたします。

宮本東雨 笠原隆之助 橋川靖子 佐藤康子 本荘真理

家族会への物品のご提供に感謝いたします。

岡田公子 南野佐智子 吉田尋美 池上みどり 小塚幸恵 中村淑子 南戸紘子

家族会へのボランティアに感謝いたします。

佐々木映世

(敬称略 順不同)

発行人 社会福祉法人 北摂杉の子会  
理事長 松上 利男

発行所 北摂杉の子会

住 所 大阪府高槻市城北町1丁目6-8

発行日 2025年7月31日

定価100円

## 施設住所一覧

- **社会福祉法人 北摂杉の子会 法人事業部  
人材育成研修室**  
(法人独自の公益事業〈研修・講師派遣・コンサルテーション〉)  
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F  
TEL (072)662-8133 FAX (072)662-8155
  - **障がい者支援施設 萩の杜** (施設入所支援・生活介護)  
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1  
TEL (072)699-0099 FAX (072)699-0130
  - **萩の杜 日中活動支援センターふれっとなさはら**  
(生活介護)  
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目4番25号
  - **萩の杜ショートステイセンター ぶれす**  
(短期入所・日中一時支援)  
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1  
TEL (072)699-0844 FAX (072)699-0199
  - **グループホーム とんだ** (共同生活援助)  
〒569-0814 高槻市富田町5-13-14 101号室
  - **レジデンスなさはら** (共同生活援助)  
〒569-1041 高槻市奈佐原3丁目15番1号
  - **レジデンスなさはら2丁目** (共同生活援助)  
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目1番8号
  - **レジデンスなさはらもとまち** (共同生活援助)  
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目4番26号
  - **ジョブサイトひむろ** (生活介護)  
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27  
TEL (072)697-2234 FAX (072)697-2222
  - **高槻地域生活総合支援センター ぶれいす Be**  
(生活介護・就労継続支援B型・短期入所・日中一時支援)  
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号  
TEL (072)681-4700 FAX (072)681-4900  
〈短期入所〉 TEL (072)681-4720
  - **生活支援センター あんだんて**  
(指定特定相談支援・指定一般相談支援事業)  
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号  
TEL (072)681-4755 FAX (072)681-4900
  - **大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか**  
(発達障害者支援センター事業)  
〒540-0026 大阪市中央区内本町1丁目2-13  
谷四ばんらいビル10F  
TEL (06)6966-1313 FAX (06)6966-1531
  - **こども発達支援センター will**  
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)  
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル2F  
TEL (072)662-0100 FAX (072)662-0056
  - **こども相談支援センター wish**  
(指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業)  
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号  
TEL (072)668-4776 FAX (072)681-4900
  - **自閉症療育センター Link**  
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)  
〒573-0032 枚方市岡東町24-10 アイエス枚方ビル3F  
TEL (072)841-2411 FAX (072)841-2412
  - **ジョブサイトよど** (生活介護)  
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号  
TEL (06)6838-7007 FAX (06)6838-7015
  - **ジェイ・ブランチよど** (就労継続支援B型)  
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目3番10号  
TEL (06)6303-9430 FAX (06)6195-3710
  - **レジデンスよど三津屋北ホーム** (共同生活援助)  
〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北1丁目9番6号
  - **レジデンスよど十三ホーム** (共同生活援助)  
〒532-0024 大阪市淀川区十三本町2丁目14番9号
  - **ジョブジョイントおおさか**  
(自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)  
〒569-0072 高槻市京口町9番3号 関西産業ビル1F・4F  
TEL (072)668-1123 FAX (072)668-1165
  - **すぎのご訪問看護ステーション** (訪問看護)  
〒569-0065 高槻市城西町9-6 2F  
TEL (072)668-2670 FAX (072)668-2671
  - **豊中市立児童発達支援センター【通所部門】**  
〒561-0854 豊中市稲津町1丁目1番20号 1階  
TEL (06)6676-7890 FAX (06)6676-7889
- 【法人自主製品店舗】
- 「LaLa-chocolat (ララ ショコラ) /TAKATSUKI」  
就労継続支援B型  
〒569-0071 高槻市城北町2丁目13番2号  
TEL (072)668-5055 FAX (072)668-5081  
営業時間：10：00～19：00(日・祝休み)
- ※■は行政よりの委託事業

